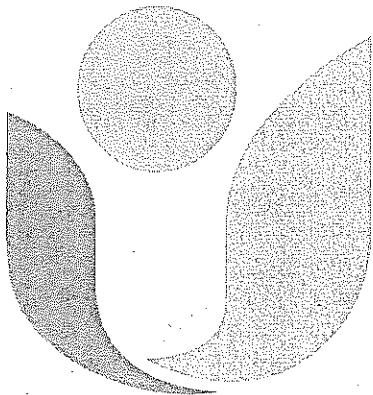


平成27年度

事務の管理及び執行の状況の点検

及び評価の結果に関する報告書

《平成26年度事業対象》



宇城市教育委員会

目 次

1 点検及び評価の概要	
(1) 点検及び評価の目的	1
(2) 評価委員の知見の活用	1
(3) 点検及び評価の対象	1
(4) 宇城市教育委員会評価委員会委員名簿	1
2 教育委員会の活動状況	
(1) 宇城市教育委員会委員名簿	2
(2) 平成26年度教育委員会の会議状況	2～5
(3) その他の会議状況	5
3 教育委員会事務局の組織と事務分掌	
(1) 事務局組織図	6
(2) 事務局及び事務分掌	7～8
4 点検及び評価	
教育課程特例校事業	9
国際国内交流事業	10
奨学金事業	11
就学援助費（要保護・準要保護児童生徒援助費補助事業）	12
幼稚園就園奨励費補助事業	13
不登校対策宇城つ子ネット事業	14
水俣に学ぶ肥後つこ教室事業	15
非構造部材改修事業	16
大規模改修事業	17
公文書整理（アーカイブズ）業務	18
文化財調査保存及び指定業務	19～20
美術館施設収蔵庫管理業務	21
宇城市体育協会補助金	22
各種スポーツ大会・教室開催に関する業務	23～25
三角西港国重要文化財詳細測量業務委託事業	26
学校給食提供事業	27
学校給食施設維持管理事業	28
放課後子ども教室事業	29
地域教育コーディネーター育成・活用事業	30

宇城つ子のつどい	3 1
「宇城市教育の日」フェスティバル	3 2
人権教育啓発イベント（人権フェスタ）運営業務	3 3～3 4
人権教育学習会（ふれ愛学習会）運営業務	3 5～3 6
講座の開設、運営に関すること	3 7～3 8
各種講座運営業務（インダストリアル研修館）	3 9
各種講座運営業務（働く女性の家）	4 0
図書館蔵書充実事業	4 1

1 点検及び評価の概要

(1) 点検及び評価の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うことが義務付けられました。また、これを議会に提出するとともに、公表することで、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

(2) 評価委員の知見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定により、広い観点からの知見の活用を図るため、担当課が行った点検・評価（自己評価）について4人の評価委員から様々なご意見、ご助言をいただきました。

(3) 点検及び評価の対象

点検及び評価の対象事業は、平成26年度に実施したものの中から事業費が多額な事業、社会的関心が高い事業、在り方の検証が必要な事業及び主要・重点に取り組んだ事務事業の27事業を選定しました。

(4) 宇城市教育委員会評価委員会委員名簿

役職	氏名
委員長	村田 寛
副委員長	小田原 弘則
委員	池田 隆美
委員	岩永 理恵

《参考》

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 教育委員会の活動状況

(1) 宇城市教育委員会委員名簿（平成26年4月22日現在）

職名	氏名	委員就任年月日	現任期
委員長	長田 政敏	平成26年3月12日	平成26年3月12日 平成30年3月11日
委員 (職務代理者)	木村 紀雄	平成24年3月24日	平成24年3月24日 平成28年3月23日
委員	小野 隆夫	平成22年3月12日	平成26年3月12日 平成30年3月11日
委員	佐高 久美	平成23年5月26日	平成25年3月12日 平成29年3月11日
教育長	大槻 英	平成23年3月24日	平成23年3月24日 平成27年3月23日

※ 宇城市教育委員会委員定数条例

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第3条ただし書の規定に基づき、宇城市教育委員会の委員の定数は、6人とする。

(2) 平成26年度 教育委員会の会議状況

◇ 4月定例会

日時：平成26年4月22日（火）

場所：宇城市役所3階 第1会議室

前回会議録の承認／教育長報告

[議題]宇城市教育委員会委員長の辞任届の受理について

宇城市教育目標の制定について

専決処分の報告について

- ・宇城市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
- ・宇城市社会教育指導員服務規程の一部改正について
- ・宇城市立小・中学校遠距離通学児童、生徒の通学費補助支給規程の一部改正について
- ・宇城市各種大会出場補助金交付要綱の一部改正について
- ・宇城市文化財保存事業費補助金交付要綱の一部改正について
- ・宇城市立学校の学校評議員の委嘱について
- ・宇城市中央公民館館長の任命について
- ・宇城市社会教育指導員の委嘱について
- ・宇城市地域人権教育指導員の委嘱について
- ・宇城市青少年教育担当指導員の委嘱について
- ・区域外就学について
- ・学校変更について

学校変更の承認について

宇城市教育委員会教育長の選任について

宇城市教育委員会委員長の選挙について

宇城市教育委員会委員長職務代理者の選任について

宇城市教育委員会議席の決定について

◇ 5月定例会

日時：平成 26 年 5 月 20 日（火）
場所：宇城市役所 3 階 第 1 会議室

前回会議録の承認 ／ 教育長報告

[議題] 平成 26 年度宇城市奨学生の認定について

専決処分の報告について

- ・宇城市幼稚園規則の廃止について
- ・宇城市招致外国青年任用規則の一部改正について
- ・宇城市不知火美術館運営協議会委員の委嘱について
- ・宇城市人権教育推進協議会委員の委嘱について

学校変更の承認について

◇ 6月定例会

日時：平成 26 年 6 月 24 日（火）
場所：宇城市役所 3 階 第 1 会議室

前回会議録の承認 ／ 教育長報告

[議題] 専決処分の報告について

- ・宇城市公民館条例の一部を改正する条例について
- ・宇城市スポーツ推進委員の委嘱について
- ・宇城市学校給食運営委員会委員の委嘱について
- ・宇城市不知火美術館休館日について
- ・学校変更の承認について

学校変更の承認について

◇ 7月定例会

日時：平成 26 年 7 月 23 日（水）
場所：宇城市役所 3 階 第 1 会議室

前回会議録の承認 ／ 教育長報告

[議題] 学校変更の承認について

要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について

全国学力・学習状況調査結果の公表の在り方について

◇ 8月臨時会

日時：平成 26 年 8 月 11 日（月）
場所：宇城市役所 3 階 第 1 会議室

[議題] 平成 26 年度宇城地区教科用図書採択について

◇ 8月定例会

日時：平成 26 年 8 月 18 日（月）
場所：宇城市役所 3 階 第 1 会議室

前回会議録の承認 ／ 教育長報告

[議題] 学校変更の承認について

◇ 9月定例会

日時：平成 26 年 9 月 17 日（水）
場所：宇城市役所 3 階 第 1 会議室

前回会議録の承認 ／ 教育長報告

[議題] 宇城市教育委員会評価委員の委嘱について
学校変更の承認について
区域外就学の承認について

◇ 10月定例会

日時：平成 26 年 10 月 15 日（水）
場所：宇城市役所 3 階 第 1 会議室

前回会議録の承認 ／ 教育長報告

[議題] 学校変更の承認について

◇ 11月定例会

日時：平成 26 年 11 月 12 日（水）
場所：宇城市役所 3 階 第 1 会議室

前回会議録の承認 ／ 教育長報告

[議題] 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行
に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
専決処分の報告について
・宇城市教育委員会職員懲戒処分の指針の制定について
事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書について
学校変更の承認について

◇ 12月定例会

日時：平成 26 年 12 月 17 日（水）
場所：宇城市役所 3 階 第 2 会議室

前回会議録の承認 ／ 教育長報告

[議題] 専決処分の報告について
・区域外就学について
区域外就学の承認について
学校変更の承認について

◇ 1月定例会

日時：平成 27 年 1 月 14 日（水）
場所：宇城市役所 3 階 第 1 会議室

前回会議録の承認 ／ 教育長報告

[議題] 専決処分の報告について
・学校変更について
区域外就学の承認について
学校変更の承認について

◇ 2月定例会

日時：平成 27 年 2 月 19 日（木）
場所：宇城市役所 3 階 第 1 会議室

前回会議録の承認 ／ 教育長報告

[議題]専決処分の報告について

- ・宇城市学校給食食物アレルギー対応食提供事業実施要領の一部を改正する告示について

学校変更の承認について

◇ 2月臨時会

日時：平成 27 年 2 月 28 日（土）
場所：宇城市役所 3 階 教育長室

教育長報告

[議題]宇城市立小・中学校教員の人事異動の内申について

◇ 3月定例会

日時：平成 27 年 3 月 17 日（火）
場所：宇城市役所 3 階 第 2 会議室

前回会議録の承認 ／ 教育長報告

[議題]地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係規則の整理に関する規則の制定について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係訓令の整理に関する訓令の制定について

宇城市奨学金条例施行規則の一部を改正する規則の制定について

宇城市立図書館雑誌スポンサー制度実施要綱の制定について

宇城市教育部関係補助金交付要綱の廃止について

宇城市教育部関係補助金交付要綱の制定について

学校変更の承認について

専決処分の報告について

- ・区域外就学の承認について

新教育長制度に伴う宇城市教育委員会教育長職務代理者の指名について

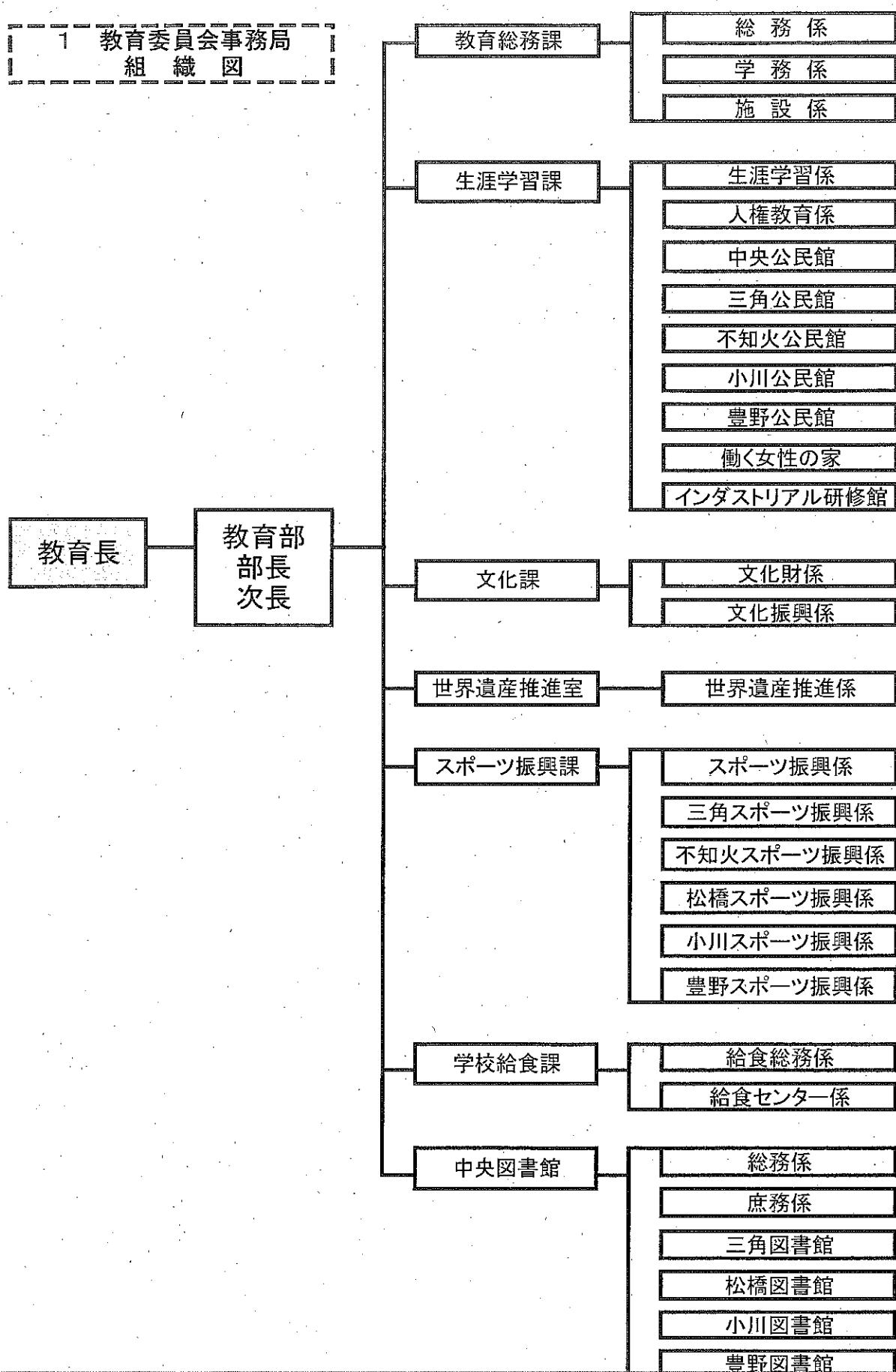
(3) その他の会議状況

- ・宇城市町教育委員全員研修会
- ・教育委員行政視察研修
- ・学校訪問
- ・各小中学校入学式・卒業式
- ・各学校運動会
- ・成人式典
- ・学校給食試食会
- ・その他各種イベント等への出席

III 教育委員会事務局

<H27. 4.1現在>

1 教育委員会事務局
組織図



課名	係名	事務分掌
教育総務課	総務係	<p>1 教育委員会の会議に関すること。</p> <p>2 教育委員会の総括に関すること。</p> <p>3 条例、規則及び規程等の制定改廃に関すること。</p> <p>4 公告式に関すること。</p> <p>5 公印の管理に関すること。</p> <p>6 文書の收受、発送及び保管に関すること。</p> <p>7 詐訟及び不服申立て並びに請願及び陳情に関すること。</p> <p>8 教育委員会職員(県費負担教職員を除く。以下同じ。)の人事、給与及び服務に関すること。</p> <p>9 教育委員会の臨時、非常勤職員に関すること。</p> <p>10 教育委員会職員の研修及び福利厚生に関すること。</p> <p>11 叙位、叙勲事務に関すること。</p> <p>12 教育行政相談に関すること。</p> <p>13 授学生に関すること。</p> <p>14 教育調査統計に関すること。</p> <p>15 独立行政法人日本スポーツ振興センターに関すること。</p> <p>16 国際交流に関すること。</p> <p>17 語学指導に関すること。</p> <p>18 課の庶務に関すること。</p> <p>19 その他教育総務に関すること。</p>
	施設係	<p>1 学校教育施設の設置及び管理に関すること。</p> <p>2 学校教育財産の取得及び処分に関すること。</p> <p>3 学校教育施設の維持管理に関すること。</p> <p>4 学校教育施設の工事の設計、施工及び監理に関すること。</p> <p>5 学校施設台帳に関すること。</p> <p>6 その他学校教育施設・社会体育施設に関すること。</p>
	学務係	<p>1 県費負担教職員(以下「教職員」という。)の人事及び給与の内申に関すること。</p> <p>2 学級編制及び教職員の配置に関すること。</p> <p>3 教職員の免許申請に関すること。</p> <p>4 学校等の設置、廃止及び統合に関すること。</p> <p>5 学校運営管理及び教育内容の指導に関すること。</p> <p>6 通学区の設定に関すること。</p> <p>7 学校及び幼稚園の予算に関すること。</p> <p>8 就学援助に関すること。</p> <p>9 教科用図書の給与に関すること。</p> <p>10 スクールバスの運行に関すること。</p> <p>11 児童生徒の就学及び転学に関すること。</p> <p>12 学齢簿の作成及び整理に関すること。</p> <p>13 学校保健、環境衛生に関すること。</p> <p>14 学校人権教育に関すること。</p> <p>15 就学指導に関すること。</p> <p>16 幼稚園教育に関すること。</p> <p>17 幼稚園就園奨励に関すること。</p> <p>18 幼稚園の授業料に関すること。</p> <p>19 教育課程の研究指導に関すること。</p> <p>20 学習指導の助言に関すること。</p> <p>21 生活指導及び進路指導に関すること。</p> <p>22 教科用図書の採択研究及び学習資料に関すること。</p> <p>23 教職員の研修に関すること。</p> <p>24 情報教育に係る機器整備に関すること。</p> <p>25 その他学校教育に関すること。</p>
学校給食課	給食総務係	<p>1 学校給食に関すること。</p> <p>2 給食に必要な物資の購入及び支出に関すること。</p> <p>3 給食器具の洗浄、消毒及び保管に関すること。</p> <p>4 文書の收受、発送及び保管に関すること。</p> <p>5 会計及び経理に関すること。</p> <p>6 施設設備の維持管理に関すること。</p> <p>7 食品及び調理場の設備の衛生管理並びに職員の健康管理に関すること。</p> <p>8 給食指導の計画及び実施に関すること。</p> <p>9 課の庶務に関すること。</p> <p>10 その他学校給食に関すること。</p>
	給食センター係	<p>1 学校給食センターに関すること。</p> <p>2 給食に必要な物資の購入及び支出に関すること。</p> <p>3 給食器具の洗浄、消毒及び保管に関すること。</p> <p>4 文書の收受、発送及び保管に関すること。</p> <p>5 会計及び経理に関すること。</p> <p>6 学校給食施設の工事の設計、施行及び維持管理に関すること。</p> <p>7 食品及び調理場の設備の衛生管理並びに職員の健康管理に関すること。</p> <p>8 給食指導の計画及び実施に関すること。</p> <p>9 その他学校給食センターに関すること。</p>
生涯学習課	生涯学習係	<p>1 社会教育に係る計画策定及び資料の作成に関すること。</p> <p>2 社会教育委員に関すること。</p> <p>3 生涯学習の推進に関すること。</p> <p>4 成人教育に関すること。</p> <p>5 社会教育団体の育成指導に関すること。</p> <p>6 社会教育機関の連絡調整に関すること。</p> <p>7 青少年の教育及び健全育成に関すること。</p> <p>8 文書の收受、発送及び保管に関すること。</p> <p>9 課の庶務に関すること。</p> <p>10 その他生涯学習に関すること。</p>

課名	係名	事務分掌
	人権教育係	<p>1 人権教育の企画及び連絡調整に関すること。</p> <p>2 人権教育指導員に関すること。</p> <p>3 人権教育の指導及び助言に関すること。</p> <p>4 人権教育の調査及び資料作成に関すること。</p> <p>5 人権教育の研修に関すること。</p> <p>6 人権教育に関する学習講座に関すること。</p> <p>7 人権教育推進協議会及び人権教育関係団体に関すること。</p> <p>8 その他人権教育に関すること。</p>
	中央公民館 三角公民館 不知火公民館 小川公民館 豊野公民館 働く女性の家 インダストリア ル研修館	<p>1 公民館講座の開設及び運営に関すること。</p> <p>2 公民館事業の企画、立案及び指導に関すること。</p> <p>3 公民館運営審議会に関すること。</p> <p>4 関係諸団体及び組織との連絡調整に関すること。</p> <p>5 自治公民館に関すること。</p> <p>6 公民館の維持管理に関すること。</p> <p>7 家庭教育学級に関すること。</p> <p>8 視聴覚教育に関すること。</p> <p>9 社会教育指導員に関すること。</p> <p>10 課の庶務に関すること。</p> <p>11 その他公民館に関すること。</p>
文化課	文化振興係	<p>1 芸術文化の振興及び育成に関すること。</p> <p>2 文化的まちづくりの推進に関すること。</p> <p>3 芸術文化団体に関すること。</p> <p>4 文化ホールに関すること。</p> <p>5 美術館に関すること。</p> <p>6 文書の収受、発送及び保管に関すること。</p> <p>7 その他文化振興に関すること。</p>
	文化財係	<p>1 文化財の調査、保存及び活用に関すること。</p> <p>2 文化財愛護思想の普及に関すること。</p> <p>3 郷土資料館に関すること。</p> <p>4 文化財保護審議会に関すること。</p> <p>5 その他文化財に関すること。</p>
世界遺産推進室	世界遺産推進係	<p>1 世界遺産の登録の推進に関すること。</p> <p>2 世界遺産の保存管理に関すること。</p>
スポーツ振興課	スポーツ振興係 三角スポーツ振興係 不知火スポーツ振興係 松橋スポーツ振興係 小川スポーツ振興係 豊野スポーツ振興係	<p>1 スポーツの調査、振興及び普及に関すること。</p> <p>2 体育指導委員会に関すること。</p> <p>3 各体育団体の育成に関すること。</p> <p>4 各種スポーツ大会開催に関すること。</p> <p>5 地域スポーツ活動の推進に関すること。</p> <p>6 スポーツ事故等災害見舞金に関すること。</p> <p>7 スポーツ安全協会傷害保険に関すること。</p> <p>8 社会体育施設の維持・管理に関すること。</p> <p>9 社会体育施設の設置に関すること。</p> <p>10 社会体育施設の施設台帳に関すること。</p> <p>11 社会体育施設の工事の設計・施工及び監理に関すること。</p> <p>12 体育振興関係団体との連絡調整に関すること。</p> <p>13 文書の収受、発送及び保管に関すること。</p> <p>14 学校体育施設の開放に関すること。</p> <p>15 課の庶務に関すること。</p> <p>16 その他社会体育施設、スポーツ振興に関すること。</p>
中央図書館	総務係	<p>1 図書館運営全般に関すること。</p> <p>2 図書館協議会に関すること。</p> <p>3 宇城地区図書館等活動振興協議会に関すること。</p> <p>4 各図書館の連絡調整に関すること。</p> <p>5 図書館の維持管理に関すること。</p> <p>6 臨時、非常勤職員の任用に関すること。</p> <p>7 予算・決算に関すること。</p> <p>8 その他図書館の庶務に関すること。</p>
	奉仕係	<p>1 図書館事業の企画、立案及び指導に関すること。</p> <p>2 学校・団体等への読書サービスに関すること。</p> <p>3 図書館資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。</p> <p>4 図書館資料の閲覧及び貸出に関すること。</p> <p>5 読書相談及び参考業務に関すること。</p> <p>6 資料の除籍に関すること。</p> <p>7 その他図書館奉仕に関すること。</p>
	三角図書館 松橋図書館 小川図書館 豊野図書館	<p>1 図書館資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。</p> <p>2 図書館資料の閲覧及び貸出に関すること。</p> <p>3 読書相談及び参考業務に関すること。</p> <p>4 その他図書館奉仕に関すること。</p> <p>5 その他図書館庶務（中央図書館に属するものは除く。）に関すること。</p>

平成26年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 教育総務課 総務係

事業名	教育課程特例校事業						
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり～役割を担い合う協働社会の形成～					
	08	地域内・国内・国際交流					
	1	交際交流の充実と国際化の推進					
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計
	予算額(千円)					18,370	18,370
	決算額(千円)					17,986	17,986
	執行率(%)					97.9	97.9
	人件費(千円)					3,000	3,000
	決算額+人件費					20,986	20,986

事業の目的

小中学校9年間を通して、21世紀の国際社会に貢献し、持続可能な社会の担い手となる児童生徒を育成するために、「小学校英会話科」（うきうきイングリッシュ）と総合的な学習の時間の中に「伝統・食文化」を位置づけた教育課程の編成を行う。また、国際交流事業において中学生の海外視察研修を実施することは、「豊かな人間性」「かかわり・つながりを尊重する態度」を育む宇城市学校教育の一躍を担っている。

平成26年度 事業内容

《英会話科について》

小学校英会話科「うきうきイングリッシュ」（各学年 年間35時間）

1年～2年生…ゲームや歌などの活動を通じて、簡単な英語を使ったあいさつや会話を楽しむ。
3年～6年生…ゲームや歌などの英語活動を楽しみながら、日常生活における簡単なあいさつに親しみ、慣れる。

《伝統・食文化について》

総合的な学習の時間に、宇城市独自で作成したテキスト「UKI うき伝統文化学習」を教材に、地域の伝統・食文化に関する体験や調べ学習、食文化に関しての地産地消の学習、日本の文化、熊本の文化、宇市の文化に関する学習、外国の文化を日本の文化と比較することにより理解する学習を実施する。

	平成26年度 達成目標		平成26年度 実績	
目標と実績	全校児童生徒数 4,853人	・英会話授業実施時間数 210時間 英語が好きだと答えた児童割合約95% ・郷土の良さを見つけ、郷土を愛する態度を育てる。	全校児童生徒数 4,853人	・英会話授業実施時間数 210時間 英語が好きだと答えた児童割合約95% ・郷土の良さを見つけ、郷土を愛する態度を育てようと取り組んだ。
事務局自己評価	評価	・各小学校において、ゲームや歌などの英語活動を楽しみながら、英会話の魅力を子どもたちに伝える事業ができた。 ・郷土の伝統文化、食文化、自然、歴史などを学び、郷土の良さを見つけ、郷土を愛する態度を育てようと取り組んだ。	課題	・英会話を通して国際感覚を子どもたちに身に付けさせるためには、非常勤講師の指導能力の差がある。 ・伝統・食文化の取組では、一部外部講師を見つけることが難しい。
	今後の対応	・非常勤講師の指導能力向上のため、積極的に全員研修会等を行い、個々のスキルアップを目指す。 ・外部講師の発掘。		
	有識者意見	・英会話科については、先生と英会話講師とのコミュニケーションを図り、個々のスキルアップを目指して欲しい。 ・伝統・食文化については、日本の文化、熊本の文化、宇市の文化に関する学習を実施し、各地域の婦人会や食改の協力の下、地産地消の学習をお願いしたい。		
教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了	付帯意見	英会話科については、H30年度を目指し英語力のスキルアップが必須である。伝統・食文化については、外部講師を早急に探し出すこと。

平成 26 年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 教育総務課 総務係

事業名		国際国内交流事業							
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり～役割を担い合う協働社会の形成～							
	08	地域内・国内・国際交流							
	1	交際交流の充実と国際化の推進							
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源 合計			
	予算額(千円)					2,423 2,423			
	決算額(千円)					2,350 2,350			
	執行率(%)					96.9 96.9			
	人件費(千円)					4,740 4,740			
決算額+人件費						7,090 7,090			
事業の目的									
平成 17 年度から夏休みの期間中、異文化との交流や体験を通じて豊かな国際感覚を身に付ける青少年の育成を目的とする。									
平成 26 年度 事業内容									
市内中学校から募集し、英語圏（シンガポール）・中国語圏へ海外派遣し、ホームステイによる生活体験、現地学校生徒との交流及び学校等の訪問の国際親善活動に参加する。 諸事情により平成 25 年度から中国語圏への派遣は中止。									
目標と 実績	平成 26 年度 達成目標			平成 26 年度 実績					
	派遣生徒数 10 名（英語圏のみ）			派遣生徒数 8 名（英語圏のみ）					
事務局 自己評価	評価	お互いの文化や歴史、風習などと触れ合うことで国際理解を深めるとともに語学力の向上や国際社会におけるコミュニケーション能力の醸成など人材育成の観点からも重要な事業となっている。							
	課題	派遣生徒の募集において、参加希望者が定数を超えた場合、生徒選定の際の線引きが困難である。							
	今後の 対応	一人でも多くの生徒が参加できる環境づくりを行う。							
有識者 意見	派遣生徒の各学校において、何らかの場を設けていただき発表して頂きたい。								
教育 委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了							
	付帯意見	今後も長く続けて行く為にも、派遣されていない子ども達に、外国の文化や歴史、風習を理解してもらい国際交流を深めてほしい。							

平成26年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 教育総務課 総務係

事業名	奨学金事業					
政策施策名 (総合計画)	施策内容に当てはまらない事務事業					
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	予算額(千円)				18,843	18,843
	決算額(千円)				18,521	18,521
	執行率(%)				98.2	98.2
	人件費(千円)				3,000	3,000
	決算額+人件費				21,521	21,521

事業の目的

学校教育法に規定する高等学校、高等専門学校、短期大学、大学又は専修学校の高等課程若しくは専門課程に在学する者で、経済的理由により就学が困難なものに対し奨学金の貸付けを行い、社会に貢献し得る人材の育成を図ることを目的とする。

平成26年度 事業内容

◆貸付対象者

1. 本市に居住する人の被扶養者
2. 学校等に在学している人
3. 経済的理由により就学が困難であると認められる人
4. 国、他の地方公共団体又はその他の団体から奨学金の貸付け措置を受けていない人

◆貸付金額および定数

1. 高等学校など 月額2万円 (定数10人)
2. 短期大学など 月額2万5千円 (定数10人)
3. 大学 月額3万円または5万円の選択 (定数20人)

目標と実績	平成26年度 達成目標		平成26年度 実績	
	貸付者数	13人	貸付者数	13人
事務局自己評価	評価	滞納者に対しての文書及び電話による返済相談の実施や家庭訪問による催告を行い昨年度より過年度分の返済収入が増えた。		
	課題	貸付後の滞納者をいかに完済に導くかが課題である。		
	今後の対応	今後も文書及び電話による返済相談の実施や家庭訪問による催告。また、督促状の発送を行い、返還金の確保に努める。 また、宇城市奨学金条例施行規則の見直しを行い、適正な貸付けを行う。		
有識者意見	申請書受付の際には、奨学生の意識づけのために親子同席で実施して頂きたい。 (高校・短大・大学)			
教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了		
	付帯意見	宇城市奨学金施行規則の見直しと、今後も滞納者への返還強化を図り、健全な奨学金貸付事業を行う必要がある。		

平成26年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 教育総務課 学務係

事業名		就学援助費（要保護・準要保護児童生徒援助費補助事業）							
政策施策名 (総合計画)		施策内容に当てはまらない事務事業							
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	予算額(千円)	192				57,305			
	決算額(千円)	192				53,251			
	執行率(%)	100				92.9			
	人件費(千円)					2,625			
	決算額+人件費	192				55,876			
事業の目的									
経済的理由により就学が困難と認められる児童又は生徒の保護者に対し、就学に必要な費用を援助することにより義務教育の円滑な実施に資する									
平成26年度 事業内容									
①保護者から学校を通じて申請があり、準要保護世帯を認定 ②要保護及び準要保護世帯に対する就学援助費を決定 ③年3回支払い									
目標と 実績	平成26年度 達成目標			平成26年度 実績					
	認定件数 697人			認定件数 729人					
事務局 自己評価	評価	本件の実施は行政の責務であり、目的も達成できていると言える。本年度から業務に携わる時間を短縮するよう事務処理の方法を改善したが、それでも事務量が多い。							
	課題	事務処理については、簡素化に向け随時改善を行っているが、申請者は年々増加している。今後、効率性と正確性のためシステム導入を検討する。							
	今後の対応	簡便に事務処理できるシステムの作成と、制度の更なる理解が必要だと考える。							
有識者 意見	適性に援助ができるように事業を続けてほしい。								
教育 委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了							
	付帯意見	システムの早期構築を図り、簡便な事務処理を行う必要がある。							

平成26年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 教育総務課 学務係

事業名		幼稚園就園奨励費補助事業				
政策施策名 (総合計画)		施策内容に当てはまらない事務事業				
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	予算額(千円)	12,227				42,368
	決算額(千円)	12,227				41,675
	執行率(%)	100				98.3
人件費(千円)						1,500
決算額+人件費		12,227				43,175
事業の目的						
保護者の所得状況に応じて、入園料及び保育料の経済的負担を軽減すると共に、公・私立幼稚園間における保護者負担の格差是正を図る事を目的として、幼稚園に通う園児の保護者が負担する入園料及び保育料を减免（軽減）する事業である。						
平成26年度 事業内容						
設置者が、宇城市内に住所を有し、当該幼稚園に在園する満3歳、3歳、4歳及び5歳児の保護者に対し、保育料等を減額又は免除する場合に、当該設置者に対し補助を行う。ただし、同一世帯で児童(18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者)を3人以上養育している保護者に対して、第3子以降の保育料等を免除し、当該設置者に対し補助を行う。						
目標と 実績	平成26年度 達成目標			平成26年度 実績		
	3歳、4歳、5歳児の園児数	380人	3歳、4歳、5歳児の園児数	377人	減免措置に関する申請件数	373件
事務局 自己評価	減免措置に関する申請件数	380件	就園奨励費補助金	46,338千円	就園奨励費補助金	53,902千円
	評価	世帯区分により経済的負担を軽減するための幼稚園への補助であり、現行どおり行政が行い、かつ必要性も高い。国の事業であるが、対象の判定と補助額の算出に関して、新たに様式を修正し、昨年と比して本件に携わる時間は短縮できている。				
	課題	国の制度見直しで事業費が年々増加傾向であり、第3子保育料無料化は市単独であることも含め、市の負担額が年々大きくなっている。				
	今後の 対応	第3子無料化事業の毎月支給の効率化を図りたい。また補助の要否判定を必要な情報から一括処理ができるシステム導入を検討し効率化に繋げる。				
有識者 意見	保育園の第3子無料化が、毎年増加してきており一般財源の持ち出しが非常に大きいため、将来的には見直しも視野に入れて、今の時点では現状維持で事業を進めて頂きたい。					
教育 委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了				
	付帯意見	今後の交付税削減に伴い、制度の見直しも考えて行く必要がある。				

平成26年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 教育総務課 学務係

事業名	不登校対策宇城っ子ネット事業						
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとづくり～役割を担い合う協働社会の形成～					
	01	学校教育					
	3	豊かな心と健やかな体の育成					
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計
	予算額(千円)					410	410
	決算額(千円)					390	390
	執行率(%)					95.1	95.1
人件費(千円)						750	750
決算額+人件費						1,140	1,140

事業の目的

心理的、情緒的原因等により、不登校状態にある児童生徒に対し、教育委員会が委嘱した指導員、退職校長会、教育事務所所属のSSWの協力により、学習支援や集団適応能力を育成することで学校復帰を支援する。

平成26年度 事業内容

6月10日に開級し、以降指導員が保護者や学校との連絡調整や、必要に応じてSCの助言を受けて週2回、自立に向けた学習や集団適応能力を育成に取り組み、平成27年2月26日に閉級した。この間、6名の入室願いがあり、のべ61名が登校。室内でのものづくりやスポーツ、校外学習として三角西港見学や農業体験も取り入れ、個々の特性を活かす学習に繋げることができた。その結果、2名が学校に復帰した。

目標と実績	平成26年度 達成目標		平成26年度 実績	
	不登校状態にある児童生徒 30人		不登校状態にある児童生徒 36人	
事務局自己評価	宇城っ子ネット参加数 10人		宇城っ子ネット参加数 6人	
	不登校解消数 5人		不登校解消数 2人	
	評価	学校へは行けないが、ある程度外出できる子どもが安心して通える「適応機能教室」として必要である。活動は事業指導員に全て任せのではなく、保護者、教職員にもっと協力をいただき、不登級解消に向け共に指導できる体制が望ましい。		
今後の対応	課題	中央公民館が取り壊しされるため、拠点となる教室の確保が急務。不登校児童生徒を常時受け入れられる教室整備(案)として、松橋中学校の旧用務員宿舎を改修して使用できないか。		
	今後の対応	今年度は2人の指導員(臨時)体制で対応したが、事業の円滑な推進のため、心理的に不安のある児童生徒の心の相談窓口として専門的人材の採用を検討する。早期開級(4月または5月連休前)を望む声が上がっており、要望に応えたい。		
有識者意見	中央公民館の取り壊しにあたり、早急な台代え場所(教室)を決めること。また、宇城教育事務所とも連携を取りながら対処して欲しい。			
教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了		
	付帯意見	関係部所と連携を取りながら、早期な対応が必要。		

平成26年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 教育総務課 学務係

事業名		水俣に学ぶ肥後っこ教室事業									
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとづくり～役割を担い合う協働社会の形成～									
	01	学校教育									
	4	時代の進展に対応した教育の推進									
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計				
	予算額(千円)		874			584	1,458				
	決算額(千円)		710			715	1,425				
	執行率(%)		81.2			122.4	97.7				
人件費(千円)						1,875	1,875				
決算額+人件費			710			2,590	3,300				
事業の目的											
水俣の現地または施設の訪問と体験を通して水俣病の正しい理解と公害被害から環境再生へと立ち上がる水俣の姿を、体感することで環境保全や環境問題の解決に意欲的に関わる態度や能力を育成する。また、「水俣病」の原因と差別の歴史を学習し、差別や偏見をなくしていく意欲を高める。											
平成26年度 事業内容											
市内小学校5年生を対象に、水俣市の環境関連施設を訪問し、語り部の方の話や環境問題についての講話を聴き、資料の閲覧、実験等を通して人権教育及び環境について学習した。 (訪問先：熊本県環境センター、水俣市立水俣病資料館等)											
目標と 実績	平成26年度 達成目標			平成26年度 実績							
	取り組み学校数 13校			取り組み学校数 13校							
事務局 自己評価	評価	公害の原点である「水俣病」を通して、公害の被害から環境再生へと立ち上がる水俣の姿を、現地を訪問し、体験を通して学ぶことができた。語り部の方の話を聞き、資料館等での学習で、差別の理不尽さと立ち上がり闘ってきた人の努力を学び、差別をなくしていく意欲が高まった。									
	課題	環境学習、環境教育及び人権教育の推進に繋がっており、今後も積極的に取組んでいく。									
	今後の 対応	子供達が「水俣病」の正しい理解をし、環境問題及び人権問題について、自分の身近な問題に結びつけて考えられるような事業にしたい。									
有識者 意見	是非継続して事業を進めて頂きたい。										
教育 委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了									
	付帯意見	今後も引き続き、環境・人権問題を子ども達の身近な問題として理解し、差別をなくすための意欲を高める必要がある。									

平成26年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 教育総務課 施設係

事業名		非構造部材改修事業				
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり～役割を担い合う協働社会の形成～				
	01	学校教育				
	5	安心・安全な教育環境の整備と教職員の資質向上				
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	合計
	予算額(千円)	75,909		156,500		9,812 242,221
	決算額(千円)	75,909		154,200		3,615 233,724
	執行率(%)	100.0		98.5		36.8 96.5
人件費(千円)					6,750	6,750
決算額+人件費		75,909		154,200		10,365 240,474

事業の目的

学校施設は子どもの学習・生活の場であるとともに、災害時には地域住民の応急避難場所としての役割を果たすため、その安全性の確保は極めて重要である。

このため、特に致命的な事故が起こりやすい屋内運動場等の吊り天井等の落下防止対策を推進する。なお、落下防止対策は、平成27年度までの完了が求められている。

平成26年度 事業内容

対象施設は屋内運動場及び武道館で、高さ6m超又は面積200m²超の一定規模以上の吊り天井、照明器具及びバスケットゴールなど、高所に設置されたものの落下防止対策である。本年度は、小中学校23施設（屋内運動場18施設、中学校武道館5施設）のうち、吊り天井等を有する9施設について改修工事を行った。

目標と実績	平成26年度 達成目標		平成26年度 実績
	・改修工事 9施設	・実施設計 11施設	・改修工事 9施設（小学校屋内運動場7校、中学校屋内運動場2校） ・実施設計 11施設（小学校屋内運動場4校、中学校屋内運動場2校、武道場5校）
事務局自己評価	評価	本年度は優先順位の高い9施設について改修工事を完了した。 また、残る14施設のうち大規模改修工事等を予定している3施設を除き、11施設の実施設計を完了した。	
	課題	改修工事の際は、2箇月から4箇月にわたり屋内運動場や武道場等が使用できなくなるため、代替施設の確保や代替施設までの交通手段、授業や各種行事の振替えが必要となる。	
	今後の対応	残る14施設については、大規模改修工事を含め27年度までの対策完了を目指す。松橋中学校の屋体アーチ部分は、アベスト含有が確認されたため、撤去工事と併せて天井材及び天井照明の落下防止工事を行う必要がある。	
有識者意見	平成27年度完了を目指して事業を進めて欲しい。		
教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了	
	付帯意見	この事業は小中学校の全屋内運動場を対象にしており、事業進捗には十分な配慮をしながら完成を目指して頂きたい。	

平成26年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 教育総務課 施設係

事業名		大規模改修事業							
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり～役割を担い合う協働社会の形成～							
	01	学校教育							
	5	安心・安全な教育環境の整備と教職員の資質向上							
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	予算額(千円)			9,500		500			
	決算額(千円)			8,500		464			
	執行率(%)			89.5		92.8			
人件費(千円)					750	750			
決算額+人件費				8,500		1,214			
事業の目的									
経年による学校建物の損耗や機能低下に対する復旧措置、トイレ整備等の大規模改造を行うことにより、教育環境の改善を図り、もって学校教育の円滑な実施に資するとともに、併せて建物の耐久性の確保を図る。									
平成26年度 事業内容									
豊福小学校及び当尾小学校の屋内運動場は建築から40年以上経過し、屋根は漏水、外壁はモルタル剥落、内部においては床、天井、壁、電気設備等が老朽化して十分な機能が果たせない状況にあったため、大規模改修工事実施設計業務を委託した。									
目標と 実績	平成26年度 達成目標			平成26年度 実績					
	小学校屋内運動場大規模改修工事実施設計業務委託 2校			豊福小学校屋内運動場大規模改修工事実施設計業務委託 947 m ² 当尾小学校屋内運動場大規模改修工事実施設計業務委託 800 m ²					
事務局 自己評価	評価	両小学校屋内運動場は、それぞれ平成22年、24年に耐震補強工事を実施しているので、本改修工事によって更なる建物耐久性の向上と教育環境充実が図られる。							
	課題	大規模改修工事は工期が長期になるので、代替施設の確保や各種行事の振替が必要となる。また、大規模改修工事には膨大な費用が掛かるので、中長期的な施設の改修計画を策定する必要がある。							
	今後の対応	中長期的な整備計画に基づく学校建物ごとの計画的な老朽大規模改造や長寿命化改修事業の実施により、快適で過ごしやすい教育環境の整備を図る。 次年度には、豊福及び当尾小学校の屋内運動場改修工事、小川中学校校舎等の基本設計に着手する。							
有識者 意見	学校教育に支障が無いように計画的に進めて頂きたい。								
教育 委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了							
	付帯意見	中長期計画に沿って、学校施設大規模改修が計画されている。今後も財政課等と十分な予算協議を行いスムーズな事業推進を行うよう努力して頂きたい。							

平成26年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 文化課 文化財係

事業名		公文書整理（アーカイブズ）業務									
政策施策名 (総合計画)		施策内容に当てはまらない事務事業									
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計				
	予算額(千円)					1,177	1,177				
	決算額(千円)					1,021	1,021				
	執行率(%)					86.7	86.7				
	人件費(千円)					3,750	3,750				
	決算額+人件費					4,771	4,771				
事業の目的											
「公文書館法」に基づき、廃棄予定文書の中から歴史的資料として重要な公文書等の評価・選別を行い、市民及び行政の利用に供することを目的とする。											
平成26年度 事業内容											
各課・支所等で廃棄される文書について、宇城市非現用文書評価選別基準で歴史資料の対象になる文書等を専用のダンボール箱に移し、不知火支所旧議場に搬入する。シルバー人材センターと委託契約し、評価・選別を不知火支所3階の旧議場及び旧文化課の部屋にて作業を行う。 アーカイブズに該当しない文書は、職員がクリーンセンターへ持参して廃棄する。											
目標と実績	平成26年度 達成目標			平成26年度 実績							
	搬入ダンボール350箱			搬入ダンボール520箱							
事務局 自己評価	評価	年々廃棄文書の搬入数が減少していたが、前年度よりは研修会時に職員の意識を高めるために公文書の担当部署である総務課と連携を取り、搬入数が倍増した。									
	課題	現在保管している資料が2,100箱を超えており、一部を旧大岳小学校図書室に移送したが、今後も増え続けるため保管場所、また公文書館開設が必要である。									
	今後の対応	財政課等と協議し、有効な保存管理施設の確保									
有識者意見	毎年、保存量が増加していく中で保存管理施設も含め抜本的な検討が必要である。また、将来的な保存活用方法を具体化しながら、市民等に対し情報開示が出来るようなシステム構築に向けて整備をすること。										
教育委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了									
	付帯意見	有識者意見を踏まえて、引き続き歴史的資料として重要な公文書等の評価・選別を行い、市民及び行政の利用に供するよう基本方針を確立すること。									

平成26年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 文化課 文化財係

事業名		文化財調査保存及び指定業務							
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり～役割を担い合う協働社会の形成～							
	04	文化・伝統							
	2	文化遺産の保存と活用							
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計		
	予算額(千円)	1,984			984	2,754	5,722		
	決算額(千円)	1,984			972	2,320	5,276		
	執行率(%)	100			98.8	84.2	92.2		
	人件費(千円)					7,500	7,500		
決算額+人件費		1,984			972	9,820	12,776		
事業の目的									
埋蔵文化財をはじめとする文化財全般の調査を実施することにより、文化財の保存・啓発を目的とする。また、県重要文化財指定「浄水寺古碑群附補修碑」の国指定への準備を行う。									
平成26年度 事業内容									
埋蔵文化財包蔵地の有無の回答と、包蔵地内で掘削を伴う開発行為があるときに埋蔵文化財発掘届出・通知・文化財現状変更許可申請書を提出していただく。その後、遺跡の性格等によって調査方法を検討し、現地での予備・確認調査を行う。その後調査結果に応じて、事業の推進・文化財保護のための設計変更の協議を行う。国指定史跡「小田良古墳」の墳丘端確認調査及び大塚地区発掘調査報告書を刊行する。									
目標と 実績	平成26年度 達成目標			平成26年度 実績					
	文化財保護法第93条、94条による届出60件。「小田良古墳」の墳丘端調査により、指定範囲の見直しを図る。浄水寺古碑群附補修碑の国指定へ向けて、文化庁調査官の答申を受けるための価値付け調査。大塚地区発掘調査報告書の刊行。			届出50件中、本調査1件、試掘調査9件実施。 「小田良古墳」の墳丘端調査については、今年度は確認できなかったため、次年度に継続する。浄水寺碑については文化庁文化審議会より3月13日に国重要文化財に答申された。平成9年度と25年度に実施した大塚地区発掘調査報告書を各300部刊行した。					
事務局 自己評価	評価	文化財調査保存業務のうち、その多くを占めるのは埋蔵文化財の発掘調査であり、これは個人住宅建築から開発行為に至るまで埋蔵文化財包蔵地において土木工事等を行う際には必要になってくる事業である。本事業は、文化財保護法に則って文化庁への届出が行われる必要があるため、行政が関与しなければ遂行されない							
	課題	発掘調査のみならず、調査後の整理・報告作業が行えるよう体制の強化を図らなければならない。また同時に、より円滑な事業の推進のために市民や業者に対し、埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等の手続きについて周知を図らなければならない。市指定文化財については、大半が旧町の							

		指定文化財となっている。文化財としての位置づけを再調査するとともに、未指定の文化財についても調査を行う必要がある。
	今後の対応	市民、業者に対し埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等の際の手続の周知徹底を図らなければならない。また、円滑な事業推進を行う上での予算確保のため、新規事業として国庫補助の申請を行う必要がある。そのため、自治体内において事業の必要性を説明し、理解を得る必要がある。市指定文化財については、宇城市指定文化財の指定要綱の作成が必要である。
有識者意見		埋蔵文化財は、調査・保存・継承・活用が目的となっているが、この活用の部分で三角西港の世界遺産登録や浄水寺碑の国重要文化財指定等を契機に、市民全体の啓発を図りながら、学芸員を中心に十分な文化財の活用を行うこと。
教育委員会総合評価	今後の方向性 付帯意見	拡充・維持・縮小・改善・完了 文化財の活用については、広く市民（特に児童・生徒）に対し、周知し、関係者と連携しながら、文化財の企画展や学校での校外授業など積極的に取り組まれたい。

平成26年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書

文化課 文化振興係

事業名		美術館施設収蔵庫管理業務									
政策施策名 (総合計画)		施策内容にあてはまらない事務事業									
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計				
	予算額(千円)					2,606	2,606				
	決算額(千円)					2,483	2,483				
	執行率(%)					95.3	95.3				
人件費(千円)						4,815	4,815				
決算額+人件費						7,298	7,298				
事業の目的											
宇城市不知火美術館は地方の美術館として評価が高い。市民の美術に関する活動、知識、教養の向上に資するため、美術館収蔵品の維持管理及び施設の維持管理。											
平成26年度 事業内容											
美術館の収蔵品は常に温湿度や照明などの影響に配慮した環境で保存・展示に努めている。今回、収蔵庫内の害虫モニタリング、空調設備の修繕を行った。											
収蔵品は展示機会を増やすように年に数回の入れ替えをし、常設コーナーにて展示を行い、収蔵品展では作品や作家の偏りがないように展示している。											
目標と実績	平成26年度 達成目標			平成26年度 実績							
	①毎日の収蔵庫内の保存管理。 ②収蔵作品の修復を行う。 ③収蔵庫内の燻蒸を行う。 ④収蔵品コーナーの展示品の入れ替え（6回）を行う。			①収蔵庫内の温湿度計測を行い、変化が見られた際には対処し保管環境を整え維持管理に努めた。展示室の空調修理を行った。②加・除湿機の修理を行った。③虫害対策として収蔵庫内の害虫モニタリングを行った。④常設コーナーの展示6回を行った。							
事務局自己評価	評価	常設コーナーでの展示を行い、収蔵作品の展示機会を増やし、その際に出品作品の状態確認を行った。									
	課題	計画的に収蔵品展ができるように収蔵品の適正な保存・管理に努める。									
	今後の対応	絵画作品維持管理の長期計画を立て、美術品価値の衰退をおさえる。									
有識者意見	公立美術館として貴重な存在でもあり、充実した運営が求められているところである。企画展においても有名な作品等と抱合せて、多くの収蔵品の展示が出来るよう努めること。										
教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了									
	付帯意見	有識者意見を踏まえて、今後、美術関係者と連携し、精査検討を行いながら、幅広い市民の美術鑑賞の機会をつくる。									

平成26年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 スポーツ振興課 スポーツ振興係

事業名	宇城市体育協会補助金										
政策施策名 (総合計画)	2	白寿へいざなうセルフケアの確立～QOL向上を目指す健康社会の形成～									
	05	スポーツ・レクリエーション									
	3	スポーツ指導者の育成と組織強化									
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計				
	予算額(千円)					16,500	16,500				
	決算額(千円)					16,139	16,139				
	執行率(%)					97.8	97.8				
人件費(千円)						675	675				
決算額+人件費						16,814	16,814				
事業の目的											
宇城市内におけるスポーツ振興を図り、市民の体力向上とスポーツの技術向上に努め、健康増進並びに健全な心を養い、地域住民の親睦と融和を図ることを目的とする宇城市体育協会に対して運営及び事業費として補助金を交付する。											
平成26年度 事業内容											
体育協会の主な事業としては、県民体育祭の派遣に関する事、熊日（男子・女子）駅伝大会に関する事及び宇城市ロードレース大会等があり、その事業等に対して補助金を交付する。											
目標と 実績	平成26年度 達成目標			平成26年度 実績							
	補助基準を明確にするため、補助金交付要綱を制定する。			補助金については、前年度より50万円減額し、補助金交付要綱を制定した。							
事務局 自己評価	評価	補助金交付要綱を制定し、補助金の見直しを行った。									
	課題	事業内容等の精査を行い、補助基準を明確にして補助金交付要綱を改正する。									
	今後の対応	他の自治体の状況を把握して補助金の適正化を図る。									
有識者 意見	補助金のあり方について、要綱を制定し見直しに取組まれているが、今後とも事業内容について把握し、体育協会補助金の充実を図ること。										
教育 委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了									
	付帯意見	他の自治体の体育協会への補助金等を調査し、補助等のあり方について、総合的に検討して頂きたい。									

平成26年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 スポーツ振興課 スポーツ振興係

事業名		各種スポーツ大会・教室開催に関する業務							
政策施策名 (総合計画)	2	白寿へいざなうセルフケアの確立～QOL向上を目指す健康社会の形成～							
	05	スポーツ・レクリエーション							
	1	生涯スポーツ・レクリエーションの推進							
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	予算額(千円)				345	5,967			
	決算額(千円)				455	5,641			
	執行率(%)				131.8	94.5			
人件費(千円)						15,165			
決算額+人件費					455	20,806			
事業の目的									
市民のスポーツに対する意識の高揚を図るために、スポーツ関係団体と連携して各種大会・教室を開催して、市民にスポーツに接する機会の提供を目的とする。併せて、「健康づくり」、「いきがいづくり」、「地域のコミュニティー形成」等を支援する。									
平成26年度 事業内容									
体育協会及びスポーツ推進委員協議会等と連携して、別紙事業を実施した。									
目標と 実績	平成26年度 達成目標			平成26年度 実績					
	市民のニーズに合った新たなスポーツ大会や教室の開催に向けて、アンケート調査等を実施し、スポーツの振興を図る。			各種大会・教室の開催時にアンケート調査を実施した。					
事務局 自己評価	評価	毎年開催している各種大会、教室は実施したが、新たな事業の取組には至らなかつた。							
	課題	市民のニーズに合った教室・大会を行うためには、行政で行なう事業とスポーツ関係団体で行なう事業の洗出しが必要である。							
	今後の対応	スポーツ振興計画に基づき、市民のニーズを把握し、方向性を定めてスポーツの推進に取り組む。							
有識者 意見	市民の団体等がどのようなスポーツに取り組んでいるか活動状況を把握して置くこと。また、スポーツ活動は高齢者の健康づくり、介護予防のため必要な事業であり、今後、関係各課と連携し、健康分析等を取り組んだ活動にも取り組んでほしい。								
教育 委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了							
	付帯意見	スポーツ振興は、地域の元気の活力の元と考えている。関係機関と連携し各事業の更なる活用を図っていただきたい。							

別紙

平成26年度 スポーツ振興課年間イベント等日程表

月	開催日又は予定日	イベント等名	参集対象者	参加者実績	委託及び協力団体等の名称	担当係
4	4月27日(日)	豊野町婦人会ミニバレー	豊野町婦人会	99	豊野町婦人会・市スポーツ推進委員協議会豊野支部	豊野スポーツ振興係
5	5月17日(土)	宇城市少年野球教室	市内小学生クラブ	58		スポーツ振興係
	5月25日(日)	松合校区運動会	松合校区区民	597	運動会実行委員会	不知火スポーツ振興係
6	5月31日(土) 1日(日)	宇城市三角B&G会長杯ミニバスケットボール大会	市内小学生	178	宇城市体育協会三角支部	三角スポーツ振興係
	7月9日(水)	ミニバレー大会	宇城市民(一般)	台風中止	市スポーツ推進委員協議会不知火支部	不知火スポーツ振興係
7	7月13日(日)	宇城市三角B&G会長杯少年柔道大会	県内小学生	266	市柔道協会	三角スポーツ振興係
	7月19日(土) 20日(日)	みなと祭り協賛体育行事 (剣道・卓球・弓道・バド)	県内小中高生・一般	504	各種目協会	三角スポーツ振興係
8	8月1日(金)	熊本県B&Gスポーツ大会	県内小中学生	308		三角スポーツ振興係
	8月24日(日)	ちびっこトライアスロン大会	小学生	73	市スポーツ推進委員協議会	スポーツ振興係
	7月13日(日)	宇城市三角B&G会長杯少年柔道大会	県内小学生	266	市柔道協会	三角スポーツ振興係
	9月7日(日)	小川町行政区対抗ソフトボール大会	小川市民	128	市教育委員会・小川公民館	小川スポーツ振興係
9	9月7日(日)	市民体育祭(郡浦・大岳)	郡浦・大岳地区区民	983	郡浦・大岳地区体育会	三角スポーツ振興係
	9月28日(日)	市民体育祭(河江校区)	校区民	雨天中止	小川支部体育協会	小川スポーツ振興係
	9月~11月	陸上教室	市内小学生	108	熊本大学陸上部	スポーツ振興係
	10月5日(日)	市民体育祭(戸馳)	戸馳地区区民	400	三角地区体育会	三角スポーツ振興係
	10月5日(日)	市民体育祭(小川・小野部田・海東校区)	校区民	雨天中止	小川支部体育協会	小川スポーツ振興係
	10月11日(土)	宇城小川町コスモスジョギング大会	宇城市他	144	小川町陸上競技協会	小川スポーツ振興係
10	10月12日(日)	不知火校区体育祭	不知火校区区民	台風中止	体育祭実行委員会	不知火スポーツ振興係
	10月12日(日)	市民体育祭(松橋町4校区)	校区民	雨天中止	松橋町各校区体育会	松橋スポーツ振興係
	10月12日(日)	豊野町体育祭	豊野市民	台風中止	豊野支部体育協会	豊野スポーツ振興係
	10月12日(日)	市民体育祭(河江校区)	校区民	雨天中止	小川支部体育協会	小川スポーツ振興係

平成26年度 スポーツ振興課年間イベント等日程表

月	開催日又は予定日	イベント等名	参集対象者	参加者実績	委託及び協力団体等の名称	担当係
11	11月3日(月)	市スポーツフェア	宇城市民	148	市スポーツ推進委員協議会	スポーツ振興係
	11月9日(日)	小川地区中学女子ソフトボール大会	県内中学女子	雨天中止	小川中ソフトボール部後援会	小川スポーツ振興係
	11月10日(月)	市民体育祭(三角)	三角地区区民	300	三角地区体育協会	三角スポーツ振興係
	11月16日(日)	不知火みかん狩りウォーキング大会	熊本県下	213	不知火支部体育協会	不知火スポーツ振興係
	11月23日(日)	上村春樹旗小川柔道大会	県内小中学生及び招待中学	318	上村春樹旗柔道大会実行委員会	スポーツ振興係
	11月30日(日)	市武道祭(剣道大会)	小中学生	680	武道大会実行委員会	スポーツ振興係
	11月23日(日)	江藤省三野球教室	市内中学生	55	松橋スポーツ振興係 松橋軟式野球クラブ	スポーツ振興係
1	1月18日(日)	三角ランラン駅伝	宇城市民	188	体協・市スポーツ推進委員協議会三角支部	三角スポーツ振興係
	2月11日(水)	市健康フェア(ニュースポーツ紹介)	宇城市民	200	市スポーツ推進委員協議会	スポーツ振興係
2	2月21日(土)	キンボール大会	宇城市民(一般・子ども)	92	市スポーツ推進委員協議会 不知火支部	不知火スポーツ振興係
	2月15日(日)	市武道祭(弓道大会)	小中学生	86	武道大会実行委員会	スポーツ振興係
	2月21日(土)	宇城市少年サッカー大会	市内小学生	343	市サッカー協会(三角支部)	三角スポーツ振興係
	2月22日(日)	町内健康づくり駅伝大会	宇城市民	160	市・教育委員会・小川公民館	小川スポーツ振興係
	2月22日(日)	市武道祭(柔道大会)	少年の部	170	武道大会実行委員会	スポーツ振興係
	3月1日(日)	不知火デコポン駅伝大会	熊本県下	179	不知火支部体育協会	不知火スポーツ振興係
	2月～3月 全5回	小学生バレーボール教室	管内小学生4年～6年	延べ190	宇城市バレーボール協会松橋支部	松橋スポーツ振興係
3	3月8日(日)	ふれあいスポーツフェスティバル	市内小学生	231	市スポーツ推進委員協議会	スポーツ振興係
	3月21日(土)	市武道祭(柔道大会)	中学の部	42	武道大会実行委員会	スポーツ振興係
	3月29日(日)	豊野町さくらマラソン大会	小・中学生・一般	331	豊野支部体育協会	豊野スポーツ振興係

平成26年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 世界遺産推進室世界遺産推進係

事業名		三角西港国重要文化財詳細測量業務委託事業											
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつくり～役割を担い合う協働社会の形成～											
	04	文化・伝統											
	2	文化遺産の保存と活用											
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源							
	予算額(千円)		1,000			27,000							
	決算額(千円)		1,000			25,061							
	執行率(%)		100			92.8							
人件費(千円)					2,250	2,250							
決算額+人件費			1,000		27,311	28,311							
事業の目的													
平成24年に国重要文化財に追加指定された三角西港後方水路について、平面図及び立面図を作成し、三角西港を将来にわたって保全するにあたり、適切に管理保全をするために必要な資料とすることを目的とする。													
平成26年度 事業内容													
平成26年度は、国重要文化財のうち後方水路(813m)の3面石積み水路及び東排水路、西排水路、西端排水路上架橋直下部の測量を行う。													
目標と 実績	平成26年度 達成目標			平成26年度 実績									
	測量箇所 ・後方水路 延長 813m ・東排水路、西排水路、西端排水路上架橋直下部 70.9m		測量箇所 ・後方水路 延長 813m ・東排水路、西排水路、西端排水路上架橋直下部 54.1m										
事務局 自己評価	評価	国重要文化財を保全するための詳細測量業務であるため、当該事業に直接関係する受益者が存在しないが、測量成果は国重要文化財の保全・修理に活用される。											
	課題	国重要文化財を保全するための必要最小限の詳細測量であり、平成26年度で完了する事業である。											
	今後の 対応	保存活用計画に活用する必要がある。											
有識者 意見	世界文化遺産の登録が出来たので、今後は保存・活用に力を入れて頂きたい。												
教育 委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・ 完了											
	付帯意見	本事業は、国重要文化財を保全するための必要最小限の詳細測量であり、本年度で完了である。今後は、世界文化遺産を適切に保存管理しながら、資産の有効な利活用もお願いしたい。											

平成26年度 宇城市教育委員会点検・評価報告書 学校給食課

事業名		学校給食提供事業									
政策施策名 (統合計画)		2	施策内容には当てはまらない事務事業								
		05									
		1									
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計				
	予算額(千円)				6,597	48,427	55,024				
	決算額(千円)				6,595	45,306	51,901				
	執行率(%)				99.9	93.6	94.3				
	人件費(千円)				0	115,555	115,555				
	決算額+人件費				6,595	160,861	167,456				
事業の目的											
学校教育活動の一環として行われている学校給食の円滑な実施及びその充実に努めることにより、学校における食育の推進を支援し、広く児童生徒の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。											
平成26年度 事業内容											
【給食提供数】・三角小学校(227食)・青海小学校(99食)・小野部田小学校(109食)・河江小学校(395食)・小川小学校(164食)・海東小学校(110食)・三角中学校(199食)・小川中学校(439食) 不知火センター(699食)・松橋センター(2,736食)・豊野センター(376食) 合計 5,553食											
目標と 実績	平成26年度達成目標			平成26年度 実績							
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の充実及び食育の推進 ・地産地消の促進 ・学校給食の衛生管理の徹底 ・食物アレルギー対応食提供事業の実施 			<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭等による、各学校での食育推進授業 ・地産地消利用率 54% ・衛生研修会への参加及び各施設での衛生管理マニュアル等の周知 ・食物アレルギー対応食提供数 64名 							
事務局 自己評価	評価	調理員における衛生研修を年3回行い、衛生面の徹底を図ることができ、食中毒の事故もなく給食を提供することができた。また、各学校において全国学校給食週間の取り組みや毎月の献立にふるさとまさんデーを取り入れる等、地場産物活用の取り組みも行った。									
	課題	児童・生徒数の減少や施設等の老朽化に伴い修繕や機械器具の入れ替えなど、年々増加の傾向にあり維持費が増えているため、給食施設の再編を検討する。									
	今後の対応	児童・生徒数の減少や施設・機械器具の老朽化や他の自治体の運営状況を把握しながら、給食施設の統廃合(親子方式等)や民間委託を検討する必要性がある。									
有識者 意見	民間委託が進んでいるが、保護者への説明については、食材の発注・仕入れまで、すべての業務が委託されると思われないように、委託内容を地域向けに丁寧に説明して頂きたい。										
教育委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了									
	付帯意見	安心・安全な学校給食の提供に努めて頂きたい。また、民間委託について、保護者説明は、ホームページへQ&Aの掲載だけでなく、学校を通して理解しやすい文章をもって説明して頂きたい。									

平成26年度 宇城市教育委員会点検・評価報告書 学校給食課

事業名		学校給食施設維持管理事業									
政策施策名 (統合計画)	2	施策内容には当てはまらない事務事業									
	05										
	1										
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計				
	予算額(千円)					19,708	19,708				
	決算額(千円)					19,398	19,398				
	執行率(%)					98.4	98.4				
	人件費(千円)					55,171	55,171				
	決算額+人件費					74,569	74,569				
事業の目的											
児童・生徒に安心・安全な給食を提供するために、衛生的な環境及び施設整備を図り、学校給食衛生管理基準を遵守した施設環境に努めることを目的とする。											
平成26年度 事業内容											
【修繕】・三角小学校3件(112,968円)・河江小学校5件(268,110円)・小川小学校1件(135,000円)・海東小学校2件(12,744円)・三角中学校2件(149,580円)・小川中学校7件(260,820円) 給食センター(3,482,687円) 合計 4,421,909円 【備品購入】・三角小学校(中心温度計17,388円・ハイテクスパデラしゃもじ2本37,368円・青海小学校(冷蔵庫291,600円)・小川小学校(球根皮剥き機169,560円)・河江小学校(スライサー1,000,080円・フードプロセッサー34,560円・残留塩素チェッカー36,720円)・小川中学校(103,356円) 給食センター(9,970,344円) 合計 11,660,976円 【工事】給食センター 3,315,600円											
目標と 実績	平成26年度達成目標			平成26年度 実績							
	突発的や計画的な施設設備の修繕及び機械器具購入			早急を要する修繕や計画的な修繕及び機械器具の購入ができた。 【修繕】 23件 4,421,909円 【備品購入】 16件 11,660,976円 【工事】 1件 3,315,600円							
事務局 自己評価	評価	施設の老朽化に伴い、突発的な修繕や機械器具の故障による修理不能のための(年数・年式が古いため交換部品がない等)備品購入費が増加している。									
	課題	施設や機械器具の老朽化に伴い、修繕箇所は突発的なものが年々増えている。また、年数が経過している機械器具は、部品の交換が出来なく、新しく買換えの必要性も高くなっている現状である。									
	今後の対応	施設や機械器具の老朽化や他の自治体の運営状況等を把握しながら、給食施設の統廃合(親子方式等)や民間委託を検討する必要性がある。また、それぞれの施設間で、譲渡可能な器具類は有効活用し経費削減に努める。									
有識者 意見	給食センターの建設計画が動き出している様で、その点については評価したい。また、民間委託と同様に保護者への説明については、明確かつ丁寧に説明して頂きたい。										
教育委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了									
	付帯意見	安心・安全な学校給食の提供に努めて頂きたい。また、センターの新設にあっては、地域住民へ充分な説明を行い、計画に沿って慎重に進めて頂きたい。									

平成26年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 生涯学習課 生涯学習係

事業名		放課後子ども教室事業							
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとづくり～役割を担い合う協働社会の形成～							
	03	生涯学習							
	1	生涯学習の充実							
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	予算額(千円)		985		580	1,565			
	決算額(千円)		876		531	1,407			
	執行率(%)		89.0		91.6	89.9			
	人件費(千円)				1,875	1,875			
	決算額+人件費		876		2,406	3,282			
事業の目的									
放課後または長期休暇等に小学校の余裕教室等を活用し、安全安心な子どもの活動場所を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちに勉強・スポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを行う。									
平成26年度 事業内容									
宇城市立松合小学校、小野部田小学校、小川小学校において実施。 〔松合小：児童37人、ボランティア25人 月～金実施〕 習字、パソコン、そろばん、読み聞かせ、昔遊び等 〔小野部田小：児童20人、ボランティア28人 月・水実施〕 教科学習、グラウンドゴルフ、茶道体験等 〔小川小：児童43人、ボランティア4人 火・木実施〕 ぐんぐん算数教室（プリント学習等）									
目標と 実績	平成26年度 達成目標			平成26年度 実績					
	参加児童数、参加ボランティア数の 増加			参加児童数は前年比109.8%と増加、ボランティアは77.0%に減少した。					
事務局 自己評価	評価	児童の学力やコミュニケーション能力の向上とともに、地域住民の生きがいづくりに繋がっている。							
	課題	参加児童数が増加しボランティア数が減少しているため、今後はボランティアを常に確保しておく必要があり、ボランティアの発掘とともに後継者の育成が必要である。							
	今後の 対応	ボランティアの確保に努めるとともに、公民館講座の受講者等を活用し、新規のボランティア発掘に努める。また、それと同時にボランティアの研修会を開催し、ボランティア1人1人の資質向上に努める。							
有識者 意見	平成27年4月1日から放課後児童クラブの対象児童が高学年まで拡大した。今後は、現在実施している放課後子ども教室を維持する方向で、ボランティアの発掘、ボランティアの資質向上に努めて頂きたい。								
教育 委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了							
	付帯意見	児童福祉法の改正により、平成27年4月1日から放課後児童クラブの対象児童が高学年まで拡大した。今後は現在実施している放課後子ども教室を維持する方向で進めて頂きたい。							

平成26年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 生涯学習課 生涯学習係

事業名	地域教育コーディネーター育成・活用事業								
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり～役割を担い合う協働社会の形成～							
	03	生涯学習							
	1	生涯学習の充実							
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計		
	予算額(千円)		686			1002	1,688		
	決算額(千円)		686			970	1,656		
	執行率(%)		100.0			96.8	98.1		
	人件費(千円)					1,875	1,875		
	決算額+人件費		686			2,845	3,531		
事業の目的									
地域住民の参画による地域の実情に応じた取組を有機的に組み合わせて、授業等における学習補助や教員の業務補助などの学校支援を行う体制づくりを推進し、引いては子どもの「生きる力」を育むことを目的とする。									
平成26年度 事業内容									
学校支援ボランティアとの連絡調整を行うコーディネーターを2人配置し、主に学習支援、登下校時の見守りボランティア等の活動に取り組んでいる。 学習支援回数 149回、学習支援ボランティア実人数 258人、延べ 712人 丸付けボランティア：不知火小・三角小、登下校見守り：毎日 実施校：不知火中学校区、豊野小中学校、三角小学校									
目標と 実績	平成26年度 達成目標			平成26年度 実績					
	学習支援ボランティア数の増加と支援回数の増加			ボランティア数は前年比 104.4%、支援回数は 125.2%と増加した。					
	評価	市内全域を現在のコーディネーターが担当し役割分担をしながら進めることができている。また、学校の協力もあり、活動内容は年々充実している。							
事務局 自己評価	課題	地域の人材確保として、多方面への情報収集が必要である。							
	今後の対応	今後、希望校に応じて対象範囲を広げていくために、新たなコーディネーターの確保・予算の確保を行っていく。							
	意見	学校の事業に対する認知度が低いと思われる。学校でどんな地域連携をしているのか調査し、地域の人材を確保し、学校に対して必要な情報を発信するなどの取り組みの拡大をお願いしたい。							
教育 委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了							
	付帯意見	現在、三角町で事業拡大に向けて取り組まれている。今後、学校と打合せながら事業を拡大できるよう進めて頂きたい。							

平成26年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 生涯学習課 生涯学習係

事業名	宇城つ子のつどい								
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり～役割を担い合う協働社会の形成～							
	02	社会教育							
	1	青少年育成施策の推進							
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計		
	予算額(千円)				240	613	853		
	決算額(千円)				240	566	806		
	執行率(%)				100.0	92.3	94.5		
人件費(千円)					2,625	2,625			
決算額+人件費				240	3,191	3,431			
事業の目的									
野外活動や集団生活を通してお互いの友情を深め、団体生活の楽しさや厳しさを学ばせるとともに、リーダーの育成を図る。									
平成26年度 事業内容									
宇城市内の小学校5・6年生を対象に、8月18日(月)～20日(水)(2泊3日)にかけ、国立諫早青少年自然の家において、沢登り等の野外活動や野外炊飯を実施。									
○参加者 小学5・6年生48名・高校生リーダー18名(宇土高校・松橋高校・小川工業高校)・中学生リーダー3名(宇城市内)・職員5名 計74名									
目標と 実績	平成26年度 達成目標			平成26年度 実績					
	参加児童数の増加、参加ボランティア数の増加			参加児童数前年比87.3%、参加ボランティア数前年比80.8%と減少した。					
事務局 自己評価	評価	普段できない体験や、他校の児童との交流を通し、根気や自己責任の大切さ、強調性が身につき、視野を広げることが出来たと思われ、大きな成果と考える。							
	課題	さらに充実した有意義な研修となるようプログラムの内容を検討すると併せ施設により体験プログラムが異なるため、施設の検討を行う必要がある。							
	今後の 対応	NPO法人、その他団体が開催している活動に参加させるなどの方法も視野に入れ、他施設の調査、プログラムの内容を検討する。							
有識者 意見	リーダー育成につなげる事業の在り方は評価できる。リーダーのみの研修等を実施し、さらに人材の育成を図って頂きたい。								
教育 委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了							
	付帯意見	今後も研修施設、プログラム内容等について検討し、さらに充実した有意義な研修となるよう事前及び事後研修を実施し、将来の宇城市を担う人材の育成を図って頂きたい。							

平成26年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 生涯学習課 生涯学習係

事業名		「宇城市教育の日」フェスティバル							
政策施策名 (総合計画)		施策内容に当たはまらない事務事業							
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	予算額(千円)					528			
	決算額(千円)					494			
	執行率(%)					93.6			
人件費(千円)						1,500			
決算額+人件費						1,994			
事業の目的									
宇城市が取り組んでいる様々な教育活動を広く知らしめるとともに、音楽や講演等を通して、学ぶことの楽しさや学習意欲の高揚を図り、さらに教育の活性化についてみんなで考える契機とする。									
平成26年度 事業内容									
11月9日(日)午後1時00分～ 於：ウイングまつばせ (第1部) オープニングセレモニー ： KENSHIRO (ケンシロウ (熊本県出身の歌手)) の歌 (第2部) 講演会 ： 演題 「夢と人」 講師 下地 敏雄さん									
目標と実績	平成26年度 達成目標			平成26年度 実績					
	参加者数：500人			参加者数：460人					
事務局自己評価	評価	目標の来場者数からは、やや少ない感はあったものの、参加者の評価は高かったと思われる。また、プロの司会者を使うことで、歌手と講師の掛け合いができ、一連の流れを作り講演に入れたことで質の高い事業となった。							
	課題	既存の事業を活用し、市民の学習意欲の高揚を図ることを検討する。							
	今後の対応	平成26年度で本事業は完了することになるが、教育活動を広く知らしめ、学ぶことの楽しさや学習意欲の高揚を図る新たな施策を検討する。							
有識者意見	今後は教育月間のシリーズとして、一つの流れにまとめて行事をしていくという形で実施し、その中で教育が必要だという市民に呼びかけるような行事を開催して頂きたい。								
教育委員会総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了							
	付帯意見	教育月間のシリーズとして、それぞれの課で実施している事業を一つの流れにまとめ、その期間中に教育部全体で取り組んで実施する事業については教育部全体で検討して頂きたい。							

平成26年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 生涯学習課 人権教育係

事業名		人権教育啓発イベント（人権フェスタ）運営業務					
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり～役割を担い合う協働社会の形成～					
	02	社会教育					
	2	人権教育の普及・啓発の推進					
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計
	予算額(千円)		467			1,341	1,808
	決算額(千円)		467			889	1,356
	執行率(%)		100			66.2	75.0
	人件費(千円)					4,605	4,605
	決算額+人件費		467			5,494	5,961
事業の目的							
人権文化の創造に向けて、あらゆる人権問題の解決のため、行政・学校・家庭及び地域が一体となり、差別意識の解消、そして一人一人の基本的人権を尊重する学びの場、啓発の場とする。また、豊かな人権感覚を身につけることで、宇城市に生まれてきて良かったと思えるような地域社会を築きあげることを目的とする。							
平成26年度 事業内容							
市内5か所（旧町）で開催。各会場とも講演会と併せて保育園、小・中・高等学校、及び支援学校と連携をとったステージ発表や人権ポスター・標語などの展示を行った。また、県の人権啓発マスコット「コッコロ隊」にも出場してもらった。さらに今年度も家庭で人権について話すきっかけになればと考え参加賞の花の苗に人権標語の短冊を挿して配付した。							
目標と 実績	平成26年度 達成目標	平成26年度 実績					
	例年通り5会場開催し、どの会場も参加者増を目指す。	11月29日(土) 豊野公民館 講演 中倉茂樹さん 豊野保・豊野小・豊野中 <u>407人</u> 12月6日(土) 不知火公民館 講演 大湾昇さん まつにし太鼓・不知火保・不知火小・松合小・不知火中 <u>435人</u> 12月13日(土) ウイングまつばせ 講演 人権バンド「ホライズン」 松橋保・4小・松橋中・手をつなぐ育成会 <u>459人</u> 1月17日(土) 三角公民館 講演 人権漫才「としえ&みさお」 3保育園・青海小・三角小・三角中 <u>461人</u> 1月24日(土) ラポート 講演 人権バンド「願児我楽夢」 河江保・河江小・小川中 <u>436人</u>					

事務局 自己評価	評価	市民の参加を促すため、今年度より事前会議に嘱託員さんや老人会の方にも参加してもらったことで、多数の意見が聞け、微増ではあるが参加者の増加にもつながった。アンケートの結果で初めて参加したという人が21%程度あり、新たな啓発ができた。
	課題	保護者の途中退席は、例年の課題であるが、人権擁護委員さんによる「人権子どもコーナー」に留まつてもらうことで、啓発にはつながっていると考えるが、今後は講演会場へ誘導できる体制の検討が必要である。
	今後の対応	今後も開催日、プログラム、講師、開催時間等について、関係機関や各種団体等と連携しながら検討する。今までどおり各種団体等に参加の呼びかけを行うとともに、教職員、PTA、市職員への呼びかけを行う。また、保護者の途中退席については、次年度も保育園、学校及びPTAを通じて全プログラムへの参加を保護者へお願いするとともに、プログラム順の検討を行う。また、啓発の枠をひろげるために公立保育園に限っていた発表を私立保育園へ出場を打診する。
有識者 意見	人権フェスタを自分の身近な場所ですることはとても良いと考える。保護者の途中退席が無いようにプログラムを検討して頂きたい。	
教育 委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了
	付帯意見	宇城市的目指す「差別のない人権のまち」づくりに向けて、今後も5会場で実施すると共に、参加人数が増えるよう工夫をお願いしたい。

平成26年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 生涯学習課 人権教育係

事業名		人権教育学習会（ふれ愛学習会）運営業務						
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり～役割を担い合う協働社会の形成～						
	02	社会教育						
	2	人権教育の普及・啓発の推進						
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計	
	予算額(千円)				15	765	780	
	決算額(千円)				22	506	528	
	執行率(%)				146.6	66.1	67.7	
人件費(千円)						3,975	3,975	
決算額+人件費					22	4,481	4,503	
事業の目的								
子どもたちが部落問題をはじめ、様々な人権問題について学び、学習を通して正しい知識をそなえ、豊かな人権感覚を身につけることを目的に学習会を実施。								
平成26年度 事業内容								
ふれ愛学習会は、2つの学習会がある。「差別をなくす行動ができる子どもの育成となまづくりを目的としたおもやい学習会」は、教育委員会で計画立案し、様々な人権学習を実施、「差別に立ち向かうたくましい心を持つ子どもの育成となまづくりを目的としたきずな学習会」は、教育委員会が委嘱した教職員により計画立案され、解放学習（人権学習）、学力向上のための学習指導を実施している。								
目標と 実績	平成26年度 達成目標		平成26年度 実績					
	昨年度より参加者を増やす。		おもやい学習会 ◇小学生：第2・4水曜日（16:00～17:30）全21回 ◇中学生：第1・3月曜日（17:00～18:30）全19回 キズな学習会 ◇小学生：毎週月曜日及び水曜日（おもやいの日を除く）全40回・全学年（17:30～19:00） ◇中学生：毎週水曜日 全30回 （20:00～21:30・夏時間）、（19:30～21:00・冬時間） ◇高校生：毎週金曜日 全34回 （20:00～21:30・夏時間）、（19:30～21:00・冬時間）					
事務局 自己評価	評価	人権同和教育を小さい頃から繰り返し学ぶことにより、子どもたちの豊かな人権感覚を育むことができると考え、1年を通して指導してきたが、閉講式の発表する姿や静かに聞く様子をみて、子どもたちの成長が窺え、学習の成果を感じた。						
	課題	おもやい学習会の小学生は、低学年から高学年まで全学年を対象とした学習会である。そのため年齢の幅が大きく、プログラムの選択が難しいところがある。中学生においては、受験のためか年度後半には、どうしても3年生の参加減少がみられる。今後は、プログラムの内容及び学習						

		日程を検討する必要がある。豊野町で始まった「ふれ愛学習会」（旧解放学習会）であるため現在豊野町の児童生徒のみを対象に実施しているが、人権感覚育成のためには、その他の地域でも人権教育の学習が実施できないか、学校と連携を取ながら推進方法の検討が必要である。
	今後の対応	今後も「おもやい」と「きずな」それぞれの指導者である人権教育係・地域人権教育指導員や教職員が連携をとりながら、より充実したプログラム作成と日程調整に努める。また、より広い世界に出るときに生き易くなるような知識や対応能力を少しでも構築できるような学習内容を計画する必要もある。豊野町以外での学習会については、継続しての学習会は時間的にも厳しいため、単発の学習会を学校ごとに計画する。その一つとして、学童保育所を対象とした人権出前講座を実施予定である。
有識者意見	人権教育は非常に必要な事業である。豊野町でのふれ愛学習会の実施とともに、各学校と連携し、豊野町以外での学習会についても進めてほしい。	
教育委員会総合評価	今後の方向性 付帯意見	拡充・維持・縮小・改善・完了 現在のふれ愛学習会の実施とともに、豊野町以外での学習会についても、学校と打合せながら進めて頂きたい。

平成26年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 生涯学習課 中央公民館係

事業名		講座の開設、運営に関するここと													
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとづくり～役割を担い合う協働社会の形成～													
	03	生涯学習													
	1	生涯学習の充実													
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計								
	予算額(千円)					732	732								
	決算額(千円)					672	672								
	執行率(%)					91.8	91.8								
人件費(千円)						20,910	20,910								
決算額+人件費						21,582	21,582								
事業の目的															
参加者自身の社会参加や生きがいづくり・健康・文化・教養の向上を目指し個人総合的QOL(生活の質)向上を目的とする。															
平成26年度 事業内容															
高齢者を対象にした高齢者学級講座を三角町(三角、戸馳、太田尾、郡浦、大岳)5学級、不知火町、松橋町、小川町、豊野町で開催した。地域婦人会の会員や一般参加者の方を対象に募集し、女性(婦人学級)を三角町、不知火町、松橋町、豊野町で開講した。公民館主催講座を5公民館で郷土宇城の歴史を楽しむ他18講座開催した。															
目標と 実績	平成26年度 達成目標				平成26年度 実績										
	参加延べ人数 高齢者学級 4,223人(25実績) 婦人学級 773人(25実績) 主催講座(13講座) 909人(25実績)		参加延べ人数 高齢者学級 3,902人 婦人学級 958人 主催講座(19講座) 1,376人												
事務局 自己評価	評価	高齢者学級は減少、婦人学級は増加、全体で増加した。公民館新規主催講座で韓国入門講座・おもてなし講座を開講できた。													
	課題	受講生を増やして行くために、市民のニーズに合った主催講座等の開講や講座のPR方法等の検討が必要である。また、公民館等職員間の情報の共有化を図り、公民館職員としての企画力を高めることが必要である。													
	今後の 対応	アンケート等を実施し市民のニーズを把握するとともに講座のPR方法等を検討し受講生を増やして行く。担当者会議等を密にし、情報の共有化を図る。													
有識者 意見	平成28年4月1日から働く女性の家・イダストリアル研修館への松橋公民館機能移転が計画されているとのこと。新しい、市民のニーズにあった講座の開設も必要だが、現在の自主講座の利用者が活動する場所が確保出来るよう十分な情報提供をお願いしたい。また主催講座などは自主講座を育成するためのきっかけづくり。主催講座から自主講座へと繋がるよう育成するとともに自主講座の成果発表の場の検討をお願いしたい。														

教 育 委 員 会 総合評価	今後の方向性	(拡 充)・維 持・縮 小・改 善・完 了
	付 帯 意 見	松橋公民館機能移転により現在の自主講座の利用者が活動する場所が確保出来るよう十分な情報の提供と主催講座から自主講座へ進めるとともに発表の場を検討して頂きたい。

平成26年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 生涯学習課 インダストリアル研修館

事業名		各種講座運営業務										
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとづくり～役割を担い合う協働社会の形成～										
	03	生涯学習										
	1	生涯学習の充実										
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計					
	予算額(千円)					720	720					
	決算額(千円)					674	674					
	執行率(%)					93.6	93.6					
人件費(千円)						2,940	2,940					
決算額+人件費						3,614	3,614					
事業の目的												
市内誘致企業等の社員の福利厚生及び市民の文化活動・生きがい作りを推進するため。												
平成26年度 事業内容												
主催講座として、木工芸、健康マージャン（各全20回）や淡彩画、英会話（各全15回）マジック教室（全10回）や単発講座の夏休み親子講座（5講座）冬の単発講座（1講座）を開講し、市在住または勤務の方の多数の受講者があった。												
目標と 実績	平成26年度 達成目標				平成26年度 実績							
	施設利用者延べ人数 8,000人		施設利用者延べ人数 7,751人		講座受講生延べ人数 5,500人							
事務局 自己評価	主催講座受講者数 H25年実績 897人		講座受講生延べ人数 5,861人		主催講座受講者数 1,064人							
	評価	講座（主催・自主）受講者は目標を上回った。回数や定員数により増加したと思われる。施設の総利用者は研修等少なかった為減少した。										
	課題	施設の特長及び設備等を生かした講座の開講で利用者の増加を図る。										
有識者 意見	今後の 対応	利用者のニーズに合った主催講座を行うためにも、今後とも情報収集等を行い、利用者を増やして行く。										
	平成28年4月1日から働く女性の家・インダストリアル研修館への松橋公民館機能移転が計画されているとのこと。新しい、市民のニーズにあった講座の開設も必要だが、利用者が活動する場が確保出来るよう十分な調整をお願いしたい。また、主催講座などは自主講座を育成するためのきっかけづくり。主催講座から自主講座へと繋がるよう育成をお願いしたい。											
教育 委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了										
	付帯意見	松橋公民館機能移転により現在の自主講座の利用者が活動する場所が確保出来るよう十分な調整と主催講座から自主講座へと繋がるよう支援をしていく必要がある。										

平成26年度 宇城市教育委員会点検及び評価報告書 生涯学習課 働く女性の家

事業名		各種講座運営業務									
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり～役割を担い合う協働社会の形成～									
	03	生涯学習									
	1	生涯学習の充実									
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	合計				
	予算額(千円)					512	512				
	決算額(千円)					449	449				
	執行率(%)					87.7	87.7				
人件費(千円)						4,860	4,860				
決算額＋人件費						5,309	5,309				
事業の目的											
職業生活と家庭生活の調和や日常生活を豊かにするため、スポーツやレクリエーション、文化教養等幅広い学習の場としての機会をあたえる。											
平成26年度 事業内容											
主催講座として、おもてなし講座、リフレッシュヨガ、ハワイアンキルト、手ごねで作るパン教室、男の料理教室（各全10～11回）や単発講座では、ドレッシングを作ろう、暮らしのペン文字、フランス料理、手作りの切り絵カレンダー、はじめてのピラティス、楽々男の韓国料理、飾り巻き寿司教室などを開催した。											
目標と 実績	平成26年度 達成目標			平成26年度 実績							
	施設利用者延べ人数 11,500人 講座受講生延べ人数 10,500人 主催講座受講者数 H25年実績 791人			施設利用者延べ人数 11,012人 講座受講生延べ人数 9,890人 主催講座受講者数 683人							
事務局 自己評価	評価	施設及び講座（主催・自主）の利用者は目標を下回ったが、手ごねで作るパン教室とハワイアンキルトの2講座は自主講座に繋がり活動をしている。施設利用者延べ人数は25年度実績（11,044人）を上回った。									
	課題	利用しやすい施設及び魅力ある講座の開講で利用者の増加を図る。									
	今後の 対応	利用者のニーズに合った主催講座等を開講する。また男性も参加しやすい講座及び施設として利用者を増やしていく。									
有識者 意見	平成28年4月1日から働く女性の家・イグジトリアル研修館への松橋公民館機能移転が計画されているとのこと。新しい、市民のニーズにあった講座の開設も必要だが、利用者が活動する場が確保出来るよう十分な調整をお願いしたい。また、主催講座などは自主講座を育成するためのきっかけづくり。主催講座から自主講座へと繋がるよう育成をお願いしたい。										
教育 委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了									
	付帯意見	松橋公民館機能移転により現在の自主講座の利用者が活動する場所が確保出来るよう十分な調整と主催講座から自主講座へと繋がるよう支援をしていく必要がある。									

平成26年度 宇城市教育委員会点検・評価報告書

中央図書館

事業名		図書館蔵書充実事業							
政策施策名 (総合計画)	5	ユニークな文化と心とひとつづくり							
	3	生涯学習							
	2	市民に親しまれる図書館づくり							
事業費	項目	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	予算額(千円)					43,292			
	決算額(千円)					40,310			
	執行率(%)					93.1			
人件費(千円)						95,258			
決算額+人件費(千円)						135,568			
事業の目的									
市民が身近な学習の場として図書館を利用することができるよう、また、子どもから高齢者まで誰もが気軽に学べる機会づくりを推進し、知識・学習の拠点として図書館蔵書の充実を図る。									
平成26年度 事業内容									
図書館の奉仕サービス全般に加え、毎月 新刊・リクエスト及び職員選書会議（5館の調整）を開き、年間を通じて図書の購入を行う。（利用者各層の要求及び社会的な動向を十分配慮し、乳幼児期から高齢期まで広く市民の文化、教養、調査、研究、趣味、娯楽等の観点に立つ資料を幅広く収集する。）									
目標と 実績	平成26年度 達成目標			平成26年度 実績					
	奉仕事業など資料収集、フロアワーク、レファレンスを円滑、適正に行い全域旅游サービスを目指す。			図書購入冊数 中央(不知火) 3189冊、三角 1623冊、松橋 1848冊、小川 2144冊、豊野 924冊 =合計 9,728冊 (H25 10,419冊)					
事務局 自己評価	評価	予算額と照らしながら、購入できた。研修会等に参加し、質の高いサービスに繋がるよう職員のスキルアップを図った。							
	課題	サービス自体が広範囲であり、選書や除籍ができる豊かな経験や専門的な知識を持つ職員の育成や市職員との協力体制が必要である。							
	今後の対応	市職員と司書との連携を密にし、人的環境を整えることによって、図書館の奉仕サービスや蔵書の充実を図り、利用者を増やしていく。							
有識者 意見	施設の統廃合で市民は、「蔵書の行方」について関心がある。松橋、豊野図書館の図書資料の除籍処分には、十分配慮し対応していただきたい。また、これから利用状況の推移を把握し、検証することが必要である。								
教育 委員会 総合評価	今後の方向性	拡充・維持・縮小・改善・完了							
	付帯意見	これまで以上に、市職員と司書との連携を密にしながら、「選書と除籍」についても適切な対応・処理を行うこと。 有識者意見を踏まえて、これから図書館サービス事業の在り方を検証していく。							

